

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 20日

事業所名 プレミアム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%		仕切りを用いたり、密にならないように努めています。	適切である。コロナ感染予防のため、部屋の中や机のスペースを意識して座る場所を設定するなどしている。今後も感染状況に応じて変更をしていく。
	2	職員の配置数は適切である	100%		基準値より多く配置しています。	適切である。数の問題だけでなく、関わりの中での相性なども考えて配置するように努力している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		100%	特になし	駐車場の段差は補修したが、大きなバリアフリー工事などは行っていない。戸建ての特徴を活かし支援に繋がっていききたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%		朝ミーティング時に話し合っています。	今後も継続して行っていく。ご利用者様についての様々な意見や見立てが飛び交ってミーティング時間が伸びてしまうことがある為、注目すべき事を絞って話をするようにする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%		毎年行っています。	これからも保護者様からの貴重なご意見やご要望を大切に。日々のやり取りで得る事が多いが、このアンケートにも色々な事を記入して頂けるように関りを継続していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%		ホームページで公表しています。	ホームページに記載しているが、保護者様が興味を持ってご覧頂けることや検索したいと思って頂けるように、積極的に発信する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%		内部監査を第三者が行っています。	定期的に外部評価を実施する事で改善に繋がっています。モニタリングの質や、単純に日付の書き間違いなど、細かくチェックがあり、その都度見直しを行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%		年間スケジュールに合わせ内部研修を取り組んでいます。	内部研修は年間計画に沿って行い。外部研修はコロナ感染予防のために参加が難しかったが、状況を見て参加を検討したい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%		スタッフで話し合い作成しています。	日頃の関わりの中で把握している課題や保護者様からニーズを引き出し、それをスタッフで話し合い作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%		契約時に使用しています。	アセスメントと共に、日々変化する特性、成長に伴い支援を行っていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%		ミーティング時に話し合っています。	リーダーが立案し、そのチェックをスタッフ皆で行い様々な意見を取り入れ作成している。今後も継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%		スタッフで話し合い作成しています。	年間を通して、季節行事を取り入れたり、新しい活動にもチャレンジしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%		個々に目標設定して取り組んでいます。	こちらの考える課題だけでなく、保護者様のご要望なども取り入れながら設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%		作成しています。	長期の休みや平日の学校時、その時の行動できる時間なども活かし、個別活動や集団活動はその日のご様子も踏まえて見直して行っています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%		ミーティング時にしています。	一日のスケジュールを確認せずには支援は始められません。その中で関りを大小設定してスタッフで連携して行っています。今後も継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%		翌日のミーティング時に振り返りを行っています。	気付いた点は報告し、情報共有しています。その上で翌日のミーティングで振り返り、深堀しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%		毎日支援記録をとっています。	その日の記録を正確にとることで支援内容の改善に繋がっています。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%		デイとご家庭での様子を踏まえて見直しています。	デイでの成長している姿やあまり成長が見られないところなどだけでなく、ご自宅に帰ってからの様子など保護者様から伺った内容をもとに継続して情報共有します。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%		活動内容が曜日固定にならないように努めています。	今後も継続して行っていく。活動は現在ご利用の方に合わせて作成されているため、適宜に見直しを行って様々な活動に挑戦している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	100%		参加しています。	管理者や児童発達管理責任者だけでなく、そのご利用 者様に長年関わっているスタッフなど、様々な意見を 交換できるように参加者を選んでいる。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	100%		行っています。	行事などの共有はもちろん、不登校やご家庭での問題 など、様々な事柄に関して学校や担任などと連携して いる事例があります。今後も支援に必要な情報共有や 学校との連携を大事にする。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		100%	ケアが必要な方が いません。	現在必要な方はいませんが、今後利用とな れば連絡体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	100%		努めています。	ごく一部の園だけが申し送りなどを積極的に行っ てくれますが、他の園などで得られない場合は、 相談支援員に話を聞くなどの対応を続けます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	100%		申し送りをしています。	行っている。直接伝達できない場合は、FAXなど を活用して支援内容の情報を提供している。今 後も継続して行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている	29%	71%	リモート研修を受け ています。	コロナ感染予防のため積極的な参加は控えていた為、 研修などは参加していなかった。今後は機会があれば 積極的に研修を受けたいと思っております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		100%	今のところ予定し ていません	コロナ感染予防のため積極的な参加は控えてい た。様々な方との関わりが支援につながる為、 感染状況をみながら参加を検討したい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		100%	参加していません。	上記と同様であります。コロナ感染予防のために様々な所 との不要な接触を控えていたため、積極的に参加してい ません。今後は感染情報により参加を検討したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	100%		送迎時に伝えてい ます。	送迎時を活用して、ご家庭やデイでの様子の違い等を情報共 有し、先へ繋げる為の支援を保護者様と一緒に課題を見つ けて取り組んでいます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	100%		子どもへの声掛けの 内容、タイミング等 をお知らせしています。	ご家庭のご様子や環境、ご家族の関わり方など を考慮した上で、保護者様のご要望に応じて、取 り組んでいます。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	100%		行っています。	契約時に行なっているが、適宜に保護者様への 説明を行いご安心頂けるように努めます。今後 も継続して行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	100%		行っています。	悩みを打ち明けられる関係性を築いたため、困った時にすぐ に連絡が取れる管理者の携帯電話にご連絡頂けることが多く あります。その他にも送迎時などでも保護者様と細かいことま でお話しをするなど、常に支援を心がけています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している		100%	保護者会を開催出来 ていません。	以前は毎年保護者会を開催していましたが、コ ロナ感染予防のため多数の保護者様との接触 を控えていた。今後の感染状況により可能であ れば行いたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	100%		契約時に苦情窓口の 説明をしています。	保護者様からご要望やご意見を頂戴した場合は、速やかに 対応しております。いつでもご要望にお応えできるように管理 者の携帯電話を周知しています。皆様、何かあればすぐ連絡 をくださる関係が築けています。今後も細心を払い、迅速な対 応を努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	100%		毎月新聞を発行して います。	毎月発行をしている新聞の内容やバリエーション増や し、写真なども多くし保護者様にとって良い情報源とし ていきます。ホームページの周知が足りない為、努力 する。
	35	個人情報に十分注意している	100%		徹底しています。	キャビネットの施錠で安心することなく、送迎時に使用 する物にもたくさん個人情報がある事を忘れず、緊 張感をもって行動する。今後も徹底します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	100%		カードや文字盤など 使用しています。	保護者様が主となって意思疎通を行なっているという事が お子様に分かるような工夫や、ご家庭が困らないような配慮を している。今後も保護者様とお子様共に支援を行います。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている		100%	地域の方との交流は ないです。	以前はバザーなどを行い、招待できるような取り組みを行っ ていたが、コロナ感染予防のために開催できませんでした。 今後は感染状況に応じた対応ができるようにしたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%		マニュアルをいつでも見れるようにしています。	保護者様の中にはご存知な方が少ないと感じるため、様々なマニュアルがあることをしっかりと発信する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%		年間スケジュールに取り組んでいます。	定期的に避難訓練を行なっている。その内容も固定化せずに取り組む事でお子様とスタッフが共に大事な訓練として参加することができています。今後も様々な場面に合わせた避難訓練を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%		年間スケジュールに取り組んでいます。	年間計画の研修だけでなく、報道などで知った事件のことも皆で話しをして、研修している。今後も継続して行っていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		100%	拘束しません。	大前提として身体拘束をしません。しかし、保護者様が希望していることがあれば、説明をして記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%		行っています。	医師の指示書と、保護者様の情報にて対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%		作成しています。	休日だったスタッフとの情報共有をミーティングなどで行い、次に同じような事を起こさないように話し合っている。